



りあん

Vol.12
2020

～きずな～



会員数 R2.2.29

施設会員…319施設
個人会員…11名
団体・賛助会員…6施設

令和2年度に向けて

令和2年度を迎えるにあたり、会員の皆様のご活躍とご健勝を心よりお喜び申し上げます。

さて、「Nursing Now」をご存じでしょうか。2020年にナイチンゲール生誕200年を迎えることを記念し、看護職への関心を深め、社会的地位の向上を目的とした世界的なキャンペーンです。「看護職が活躍できる社会の実現」を目指し、世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携して運営しており、日本では厚生労働省と日本看護協会が事務局となり、「看護の力で健康な社会を！」をメインテーマに、2020年末まで活動します。訪問看護ステーションでも、地域で訪問看護の存在や役割・効果などを積極的にアピールしていくことが、この活動につながります。ぜひ皆様もこのキャンペーンに力を貸してください。



訪問看護については、超高齢社会を迎え、自宅で療養生活を送る人々がより安全に、安心して過ごせるように、さらに大きく推進されることが期待されています。

しかし、昨年11月に算定された第8次愛知県看護職員需給推計では、2025年に看護職は県下で2077人の不足が見込まれ、厚労省の看護職員需給分科会の中間とりまとめでは、領域的偏在の例として訪問看護・介護分野が示され、医療機関とは異なる環境下で求められる実践能力ゆえに、特に新卒看護師等の就労へのハードルが高いことが挙げられており、従事者の確保はことさら困難であることが予想されています。

当ステーション協議会としては、これを座視することなく、訪問看護師の確保に邁進しなくてはなりません。専門職の団体だからこそできる施策として、訪問看護師の倍増を図るべく、県内の訪問看護ステーションの経営支援、人材確保から教育まで総合的に一手に引き受ける「訪問看護支援センター」の設置を、昨年度に引き続き、県をはじめとする行政に粘り強く要望してまいります。

住み慣れた地域で最期まで暮らせる社会の実現に向けて、県民のニーズに応えられる協議会として常に前進し、発展していかなければなりません。

どうか、令和2年度も、心よりお力添えをお願い申し上げます。

愛知県訪問看護ステーション協議会
会長 鈴木 正子



豊田ではじめよう！訪問看護 ～豊田訪問看護師育成センター～

安心して在宅で療養生活できるまちを目指して地域一体で取り組んでいます！！

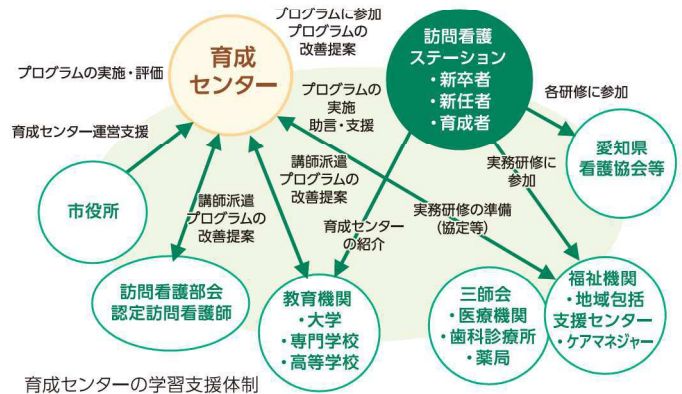
豊田地域医療センター 在宅医療研修センター 次長 加納 美代子

豊田市では、2025年までに年間約25人の訪問看護師の人材確保が必要とされ、訪問看護師の人材確保と育成が重要な課題となっています。そのため、「豊田市在宅医療・福祉連携推進計画」に基づき、「育て・つながり・安心して療養生活を全うできるまち」を目指して、市内の医療機関・教育機関・福祉関係機関・訪問看護ステーション等と連携して、訪問看護師の人材確保と育成に地域一体で取り組んでいます。そのひとつの取り組みとして、豊田地域医療センター内に「豊田訪問看護師育成センター（以下、育成センター）」を2019年4月に開設しました。

育成センターでは、新卒・新任訪問看護師が安心して、訪問看護の仕事を継続できるよう「豊田訪問看護師育成プログラム」をもとに、はじめて訪問看護師として働きたい方への教育サポートを行っています。このプログラムでは、育成センターで訪問看護の基礎的知識や技術を習得しながら、現場ではOJTによる教育を行い、2年間で人材育成する体制になっています。その他にも、訪問看護師としてのスキルアップのための研修や、新卒・新任訪問看護師の交流会、業務についての悩み相談、訪問看護ステーション管理者間の連携促進など、訪問看護の質の向上および普及活動を行っています。

育成センターの事業概要

I. 人材確保・育成	新卒・新任訪問看護師育成事業 (訪問看護師1～2年目)
	訪問看護業務のスキルアップ事業 (訪問看護師3～5年目)
	学習支援者サポート事業(管理者・育成担当者)
	育成プログラム利用支援(各ステーション)
II. 相談・交流・情報提供	仕事の悩み相談・交流会
	運営委員会
III. 普及啓発	新卒訪問看護師向け普及啓発
	有資格者への普及啓発
	訪問看護体験支援



講義・講習の風景



受講生からの声

- 病棟勤務から訪問看護師となり自信がなかったが、育成センターの学習で半年後には単独訪問や看取りを行うことへの自信につながった。
- 管理者に勧められて育成センターを受講し、質の高い講師とやる気のある受講生に出会い、モチベーションがあがった。
- 受講生を出すことでステーションの負担にはなるが、育成センターでの学び・経験は、本人の不安軽減や指導者の負担軽減となるので、ステーションの質も向上する。

訪問看護ステーション管理者からの声

- 受講生を出すことで欠員になるが、定員枠外で対応したので特に負担になることはなく、むしろスタッフ側が刺激を受けた。ステーション全体のスキルアップに育成センターの存在は有難い。
- 知識だけでなく受講生との交流が自信になり看護記録も変わってきた。育成センターで学んだ内容を学習会として、職場の事例検討に活用している。スタッフの学習意欲も増し、新しい工夫や挑戦ができるようになった。

今後に向けて

地域全体における訪問看護の質の向上を目指して、各訪問看護ステーションとの連携をさらに強化し、訪問看護師の人材確保と育成に取り組めます。

まだまだ、新卒訪問看護師の採用には抵抗がある訪問看護ステーションが多いかと思いますが、今後は、新卒訪問看護師の人材確保および育成を視野に入れた普及活動を行います。

そして、在宅療養者と家族が、安心して療養できるまちづくりに貢献していきたいと思ひます。



豊田加茂訪問看護ステーション会管理者の皆様

訪問看護普及啓発事業 「春日井市2019健康救急フェスティバル」

日時 令和元年9月1日(日)

場所 春日井市総合体育館

参加者 延べ252名

2019年度2回目の普及啓発事業は春日井市です。この事業は、県民へ訪問看護を知ってもらうために行っています。今回は「訪問看護クイズ」に加え「心臓の音を聴いてみよう!」という企画を行いました。その結果、県民の皆さん、お子様連れの親子には大変好評で、170名の方が聴診器を用いて実際の心音を聴き、身体に興味をもつきっかけになりました。地域の訪問看護ステーションの皆さんも参加し、地元の訪問看護ステーションをPRしました。2020年度も愛知県各地に出向き地域の訪問看護ステーションの皆さんとともに活動していきたいと思っています!

(広報委員 理事 山下裕美)

～参加者の声～

春日井市にある訪問看護ステーションで理学療法士として働いています。市内で開催された「健康救急フェスティバル」に初めて参加しました。幅広い年齢層の方々が、たくさん参加していて驚きました。普段、訪問看護を必要とする方や地域で働く関連職種に対して、訪問看護のことを説明する機会はありませんでしたが、地域の人たちに伝えることは初挑戦でした。紙芝居での訪問看護クイズや実際の聴診器を用いた心音体験コーナーでは、子どもたちの笑顔や心臓の音が聞こえた瞬間の驚いた表情をみることができ、とてもいい経験となりました。訪問看護のことを少しでも伝えられたのではないかと思います。同じ地域で働いている訪問看護ステーションの人たちと一緒に協力して、訪問看護の啓発活動ができ、地域で働く上で大切な「顔の見える関係づくり」の一貫にもなったのではないかと思います。来年も参加して地域の人たちに少しでも訪問看護のことを知ってもらいたいと思います。

(訪問看護ステーション 仁 春日井 理学療法士 井上将斗)



訪問看護の普及啓発に広報委員が出向きます!!

「訪問看護のことをもっと地域の人たちに知ってもらいたいんだけど・・・?」「PR方法が分からないな・・・?」
と、お考えの訪問看護ステーションの皆さま! 私たちと一緒に普及活動を行いませんか!
問い合わせ・申し込み先は愛知県訪問看護ステーション協議会です。お気軽にお声かけ下さい。

愛知県訪問看護ステーション協議会のノベルティグッズが出来ました!

県民のみなさまに、広く訪問看護を知って頂くことを目的に、ノベルティグッズを作成しました

愛知県訪問看護ステーション協議会のイメージカラーのオレンジを基調にしたトートバッグです。

仕事のお供に、買い物のお供に、レジャーのお供に、県民のみなさまに広く愛用して頂ける、A4サイズがスポッと入るぴったりサイズです!



研修会報告

1 管理者研修

テーマ 訪問看護ステーションにおける質の評価 ～事業所自己評価ガイドラインの活用方法を学びましょう～

日時 令和元年8月24日(土) **場所** 愛知県看護協会 **参加者** 82名

訪問看護ステーションは、地域包括ケアシステムの一環として、在宅療養者の地域生活の継続を支援する役割を期待されており、急速に増加している一方で、人員不足などで休止・廃止数も増加しているそうです。

訪問看護の対象者も多様化している中で、地域のニーズに応え続けていくためには、体制を整え、質の向上を図ることが、大切であることを一層強く感じました。

「事業所自己評価のガイドライン」は、管理者のみで実施するのではなく、スタッフと共に活用することが、強みを伸ばし、弱みを改善していくことにつながるという話がとても印象的でした。

できていない事実は、目をそむけなくなる現状があります。しかし、真摯に向き合い、理解・分析することで課題が明確化し対策につながります。結果、質の向上、経営の安定化にもつながっていくと感じました。課題が多い自己評価となりましたが、今後も継続的に評価していきたいと強く思いました。

(ひまり訪問看護ステーション 野中あかね)

2 災害看護研修

テーマ 訪問看護師ができる「災害時の支援」

日時 令和元年10月5日(土) **場所** 愛知県看護協会 **参加者** 66名

私は15年間訪問看護ステーションの管理職に従事し、災害に関しては訪問看護の立場で実際にどう行動するかを主眼に考えてきましたが、今年度より包括支援センターへ出向し、今までとは違う視点で今回の研修を受講しました。

災害看護とは、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくし、生活する力を整えられるようにする活動です。医療だけでなく福祉・警察・消防・葬祭・ジャーナリストなど多職種との連携が不可欠になります。そして、地域の特性を知ること、地域に住む人々としっかり話し合うことが大切と知りました。

DIG状況予測図上シミュレーションでは、自分の住む地域が災害時にどの様な状況になるのかを確認し、その後状況予測型訓練を行わない災害時のイメージをすることで、災害時の対応を考えるきっかけとなりました。

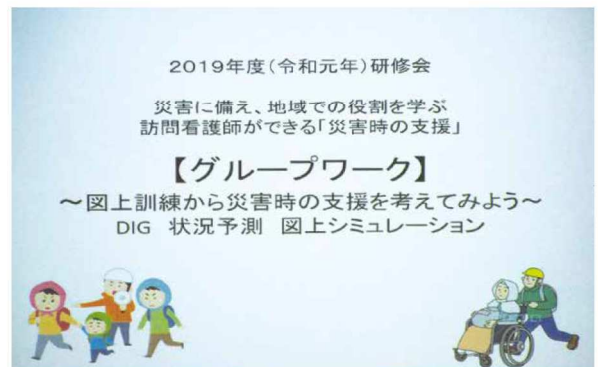
また、福祉避難所、医療機器利用者への対応、災害関連死、トリアージ、五感によるフィジカルアセスメント、仮設住宅、初期対応から中長期対応までの必要な医療など、様々な視点からの講義がありました。

今回学んだことを地域へ持ち帰り生かしていきたいと思います。

(東浦町社会福祉協議会東浦町高齢者相談支援センター [東浦包括支援センター] 小林真矢)

※DIG状況予測図上シミュレーション：住民を巻き込んだ住民参加型のワークショップのこと。

DIGとはDisaster Imagination Game (防災想像ゲーム) の略。



3 訪問看護ステーション新任管理者研修

テーマ 訪問看護ステーション新任管理者研修 ～管理者に必要な5つの役割と資質を学ぼう～

日時 令和元年11月15日(金)・16日(土) **場所** 愛知県看護協会 **参加者** 51名

今年度4月から、管理者として訪問看護ステーションに従事することとなりこの研修を受講させていただきました。多職種連携、ケアの管理、リーダーシップ、経営、管理の実際と管理者の役割、といった5つのテーマにおいて、管理者として知っておくべき内容を学ぶことができました。

我が国の超高齢少子化・人口減少社会について、これから迎える多死社会について等を含め地域社会の変化に伴い、訪問看護師としてだけでなく、管理者として地域における役割を担う責任を実感しました。また、業務管理や質の管理については、管理すべき基本的事柄を学びました。自施設の管理体制の見直しを行うとともに、管理能力を補うための自己研鑽に努め、スタッフの安全な業務環境の確保、看護の質の向上を目指し、スタッフのやりがいに繋げていきたいと思っています。

経営セミナー事業計画については、大変興味あるテーマでした。自施設の経営指針については経営母体が管理しており、人事管理ができない中で利益を上昇させる工夫をしなければなりません。事業計画の必要性や方法、ICTの活用などは初めて知る機会だったので、今後取り組んでいきたいと思っています。

(豊田厚生訪問看護ステーション 齋藤靖子)



訪問看護ステーション東海北陸ブロック交流会in愛知

この交流会は平成24年に任意で東海地区の委員が集まり、愛知県南知多町で開催したことが始まりです。会則を作成し運用してきましたが、協議会事業としての位置づけは明確ではありませんでした。今回、会則を見直し運営要領として目的、内容、担当県の輪番制について明確にしました。1年に一度東海北陸地区の会員が集まり、情報交換できる貴重な機会として、この交流会が発展していくことを期待します。

(副会長 森田貞子)

日時 令和元年11月2日(土)14時~17時

場所 ホテル竹島 コンベンションホール 海皇

参加者数 88名 (福井県:9名 富山県:2名 石川県:6名 静岡県:11名 三重県:7名 岐阜県:6名 愛知県:47名)

第1部 講演会 14:00~15:30

テーマ 「医療的ケア児を地域の訪問看護で支えよう」

講師 荒木暁子氏 公益社団法人日本看護協会常任理事

参加者数 88名

第3部 懇親会

参加者数 59名

参加された方々からは、食事がとてもおいしかったという声が聞かれました。また、当協議会の鈴木会長の余興が楽しく、皆さん盛り上がりました。他県の参加者からは「おもてなしの気持ちが伝わりました。翌日筋肉痛になるほど笑い、踊り楽しかったです」とお礼のFAXをいただきました。



第2部 報告会 15:40~17:00

内容:各県から平成30年度の活動報告と課題について発表していただきました。(各県の加入率)

	会員施設数	加入率
福井県	77	92.8%
富山県	74	98.6%
石川県	125	100%
(一社)静岡県	199	88.4%
三重県	129	80.6%
(一社)岐阜県	155	93%
(一社)愛知県	316	49.3%

・一般社団法人化しているのは、岐阜県、静岡県、愛知県でした。

・愛知県の会員施設数は316と多いのですが、事業所数が641施設であり加入率は49.3%です。

なんでも相談 Q&A 業務委員会

業務委員会では、会員の皆様を対象に「なんでも相談」を行っています。

令和元年度に寄せられた相談より、一部をご紹介します。

Q ICT上での訪問看護指示書について

ICT上で正式な電子印鑑を押した訪問看護指示書の発行があります。元本は紙でないといけませんか？また、実地指導の際はPDF保存したものを提示すればよいですか？

A 「医療情報システムにおける標準化の推進について(平成24年3月26日保険医療課事務連絡)」によると「医療機関等が、診療報酬の算定にあたって作成等することとされている文書については、電子的に作成された場合であっても、書面(紙媒体)によるものとみなして取り扱うこととして差支えない」とありますので、紙媒体は必要ありません。しかし、PDF保存したデータは修正も可能ですので、原本とみなすことはできません。実地指導の際に原本の閲覧をもとめられた場合は、医療情報システムから原本となる訪問看護指示書を提示できれば問題ないでしょう。

(参考資料)

- <https://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/nintei/201604-electronic-exchange-medical-information-20160323.pdf>
「診療情報提供書等の電子的な送受に関する評価」 閲覧日 令和2年1月30日
- 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン4.2」(平成25年10月)
- 平成28年2月10日中医協答申

Q 「てんかん」は精神科訪問看護の対象になりますか？

傷病名がてんかんです。自立支援受給者証を取得し、月1回精神科に通院している方がいます。この場合、医療保険の精神科訪問看護の対象になりますか？

A 医療保険での訪問看護の対象になります。精神科を標榜する保険医療機関の精神科の保険医から精神科訪問看護指示書が発行されている利用者については要介護認定をうけていても医療保険の適応となります。(認知症の利用者については介護保険で算定。ただし、精神科在宅患者支援管理料を算定する利用者については医療保険で算定)。
また、訪問看護ステーション側も次の届出が必要になります。

- 1) 精神科訪問看護基本療養費を算定するために、地方厚生(支)局長へ届け出をする。
- 2) 自立支援医療機関として都道府県知事に対して所定の手続きを行う。指定を受けていなければ、公費負担がうけられません。

(参考資料)

- 訪問看護実務相談Q&A(平成30年版)P176 Q4-24
- 訪問看護お悩み相談室(平成30年版) P88[089]
- 訪問看護業務の手引き(平成30年4月版)P165-166、P113

日本看護サミット2019・ 訪問看護サミット2019に参加しました



日時 令和元年12月6日(金)

場所 パシフィコ横浜

テーマ 看護が創造する地域の未来 (つなげよう!166万人の看護の力)

2019年の主題を「地域包括ケアシステムの推進」とし、「日本看護サミット」と「訪問看護サミット」の共催となりました。我が国の医療は病院完結型から地域完結型へと大きな変革を迫られています。そのためには現在5万人に満たない訪問看護師倍増策が提案されています。また「地域完結型」の医療を実現するためには、医療機関、訪問看護ステーション、介護福祉施設、教育機関、行政などあらゆる場の看護職166万人の力を集結することが重要です。今後、生産年齢人口の減少とともに、担い手不足が懸念され地域偏在、領域偏在の解消も課題です。地域の未来を切り開くためには、あらゆる場における看護職が互いの強みを活かして、地域単位で効果的なシステムを創っていくことが不可欠です。看護職が組織を越えて連携を深め地域包括ケアを推進していくことが大切だということを学びました

(理事 小椋泰子)

令和2年度 通常総会のお知らせ

日時 令和2年6月13日(土) 13時～16時

場所 愛知県看護協会

提出議案

- 報告事項1 令和元年度事業報告
- 第1号議案 令和元年度決算書類の承認及び監査報告
- 報告事項2 令和2年度事業計画
- 報告事項3 令和2年度収支予算
- 第2号議案 役員辞任と選任について

記念講演

演題：医療的ケア児を地域で支える(仮)

講師：高橋昭彦氏

NPO法人うりずん理事長 ひばりクリニック院長
(2016年 日本医師会 第4回赤ひげ大賞受賞)

研修のご案内

訪問看護の質向上を目指し、下記内容の研修を企画しています。

精神科訪問看護基本療養費算定要件研修

日時 令和2年6月20日(土)、7月4日(土)、7月11日(土)の3日間

場所 愛知県看護協会

理事会報告 令和元年度第2回理事会

開催日 令和元年11月19日(火)

協議事項

1. 定款施行細則の変更について
委員長会議の項目を削除、運営会議の構成員を変更することについて提案、承認された。
2. 令和2年度 通常総会の開催について
令和2年6月13日開催予定で承認された。

報告事項

1. 令和元年度の会員数
2. 令和元年度 事業報告(4月～10月)
3. 愛知県知事への要望書の提出について
4. 訪問看護ステーション東海・北陸ブロック交流会開催結果

編集後記

記録的な暖冬が終わり、春を迎えようとしています。今年度は、天皇陛下即位と新しい元号の年が始まるなど歴史に残る重要な年になりました。

来年度は、診療報酬改定の年でもあり、地域医療構想の重要性や、医療機能分化・強化、連携の推進において、私たちが役割を果たせるよう活動していくことが重要です。東京オリンピック開催のにぎやかな年になりそうです。聖火を繋ぐように、広報誌「りあん」が皆様へ情報を絶やさずお届けできるよう新しい年も頑張りたいと思います。

(広報委員会)

一般社団法人 愛知県訪問看護ステーション協議会

〒466-0054名古屋市中区円上町26-15高辻センター 3階 TEL:052-746-6007 FAX:052-746-6011 <http://aichi-vnc.com>

発行責任者/鈴木正子 発行日/令和2年3月1日